

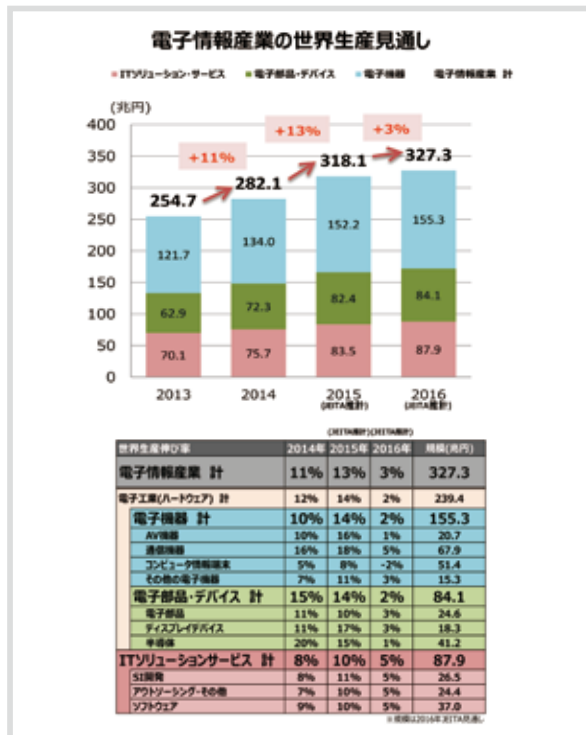
水嶋会長記者会見 (電子情報産業の世界生産見通し)

JEITAは昨年12月16日に水嶋会長の記者会見を開催し、「電子情報産業の世界生産見通し2015」調査結果を発表しました。企業活動のグローバル化の進展にともない、広く業界活動を把握するため、当年の世界生産見込み、翌年の見通しなどについてALL JEITA体制で2007年から調査を実施しております。会見には32社40名の報道関係者が出席し、当産業の先行きへの関心の高さがうかがえました。

① 電子情報産業の世界生産見通し

「電子情報産業の世界生産見通し2015」によれば、電子情報産業の2015年の世界生産額は318.1兆円、前年比13%増を見込んでおります。大きな伸長を示しています。ただ、これは大幅な円安によるものであり、ドルベースで見るとほぼ横ばいということについては、事実として認識しておく必要があります。2016年は327.3兆円、前年比3%増と、プラス成長を見通しました。背景には、スマートフォン等の通信機器の拡大や、自動車のIT化を支える電子部品・デバイス、また、新しい価値の創造に向けたITソリューション・サービスの伸長などを見込んでいます。

【電子情報産業の世界生産見通しと各分野の成長率】

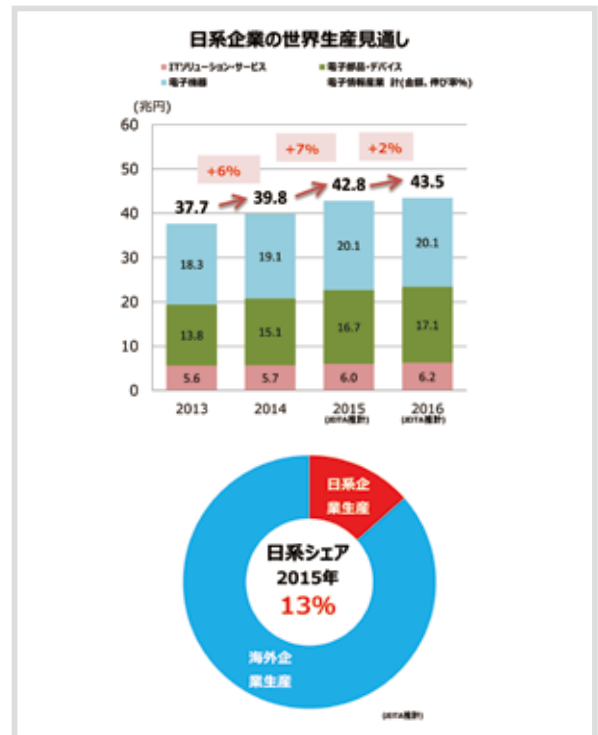


なお、今年の世界生産見通し調査が始まって10回目となりますので、過去10年の総括も行いました。

② 日系企業の世界生産見通し

次に、日系企業の世界生産見通しです。ここで言う日系企業とは、原則としてJEITA会員を指しておりますが、その2015年の世界生産は、薄型テレビや電子部品・デバイスの好調及び円安の効果もあり、42.8兆円を見込んでおり、日系企業のシェアは13%となっております。2016年については、日系企業の生産額は、43.5兆円、2%増と4年連続のプラス成長を見通しておりますが、世界生産全体の伸びと比較して下回っております。

【日系企業の世界生産見通しと日系シェア】





水嶋会長



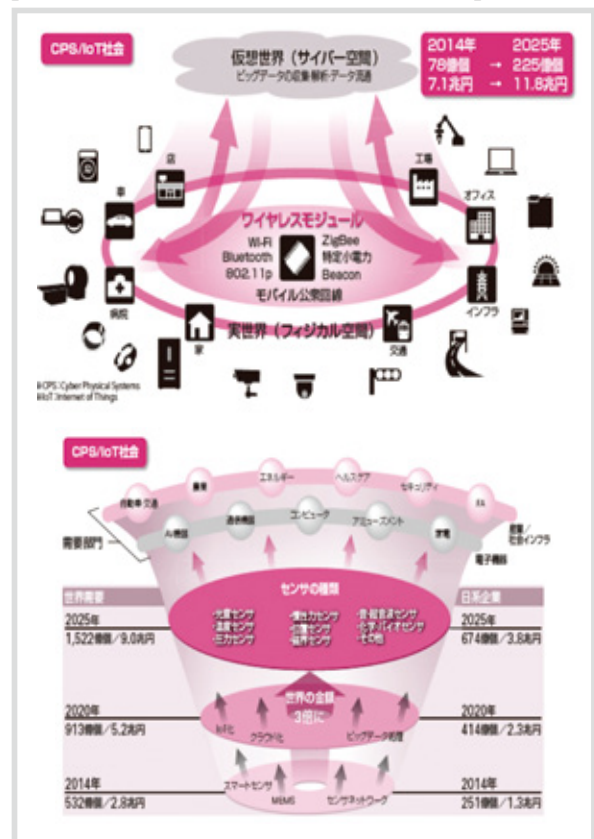
記者会見の様子

③注目分野に関する動向調査

電子情報産業の世界生産見通し調査の一環として、成長が期待できる分野、日系企業の強い分野を注目分野として取り上げ、「注目分野に関する動向調査2015」(パンフレット/冊子)としてとりまとめております。今回の注目分野調査では、CPS/IoT社会の重要な構成要素である「ウェアラブル端末」と、IoT機器におけるキーデバイスとして重要となる「ワイヤレスモジュール」と「センサ」に着目致しました。中でもセンサについては、JEITA内外のセンサ生産・販売企業を対象とした3年に一度の統計調査である「JEITAセンサ・グローバル状況調査2015」を実施し、センサの世界需要推計の際に日系企業の実績として使用しています。

※水嶋会長会見の資料のPDFは、JEITA会員ページより、ダウンロードできます。

【ワイヤレスモジュールとセンサの概念図】



刊行物のご案内

■ 電子情報産業の世界生産見通し2015

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=602&cateid=1>

■ 注目分野に関する動向調査2015(ウェアラブル端末、ワイヤレス・モジュール、センサ)

<http://www.jeita.or.jp/cgi-bin/public/detail.cgi?id=603&cateid=1>

■ JEITAセンサ・グローバル状況調査2015

<http://www.jeita.or.jp/japanese/stat/sensor/pdf/release20151217.pdf>